

新潟本社行動計画の取り組み状況について

2022年度 第4四半期進捗報告



2023年5月1日
東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社

2. 新潟本社運営体制の構築の取り組み (2/2)

<新潟県知事の掲げる「3つの検証」へのご協力>

- 新潟県の皆さまの安全・安心のためにも、新潟県が進めている検証作業は重要なことであると考えており、ご協力をさせていただきます
 - 技術委員会 《福島第一原子力発電所の事故原因》
 - ・ 2012年より行われている福島第一原子力発電所の事故原因の検証について、ご協力させていただいております。（2020年10月26日、技術委員会が知事へ検証報告書提出）※
 - 避難委員会 《安全な避難方法》
 - ・ 2017年より行われている原子力災害時の避難方法に関する検証について、ご協力させていただいております。（2022年9月21日、避難委員会が知事へ検証報告書提出）

※とりまとめられた内容に関しては、技術委員会 《柏崎刈羽原発の安全対策の確認》に反映

新潟県技術委員会（開催日：2月1日）において、「柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の確認事項22項目のうち、当社が説明する19項目」および「柏崎刈羽原子力発電所6号機大物搬入建屋杭の損傷要因」についての追加質問（水素解析、地質構造、杭損傷関連）への回答を実施。また、「柏崎刈羽原子力発電所7号機循環水配管の欠損」および「柏崎刈羽原子力発電所3号機高経年化技術評価書」についてご説明させていただいております。

3. 防災支援の取り組み ①緊急時の初動体制 (1/2)

- 「避難支援チーム」を、2018年4月1日から、新潟本部、柏崎刈羽原子力発電所、新潟県域および近隣県内事業所との協働体制を確立することにより、概ね5km圏内(PAZ)の避難支援活動要員を約140名体制へと増員。また、防災や避難支援業務を専門とする社員を柏崎市内へ常駐し、支援活動の体制を拡充
- さらに、概ね30km圏内(UPZ)の避難支援活動の体制拡充について関係機関と協議中

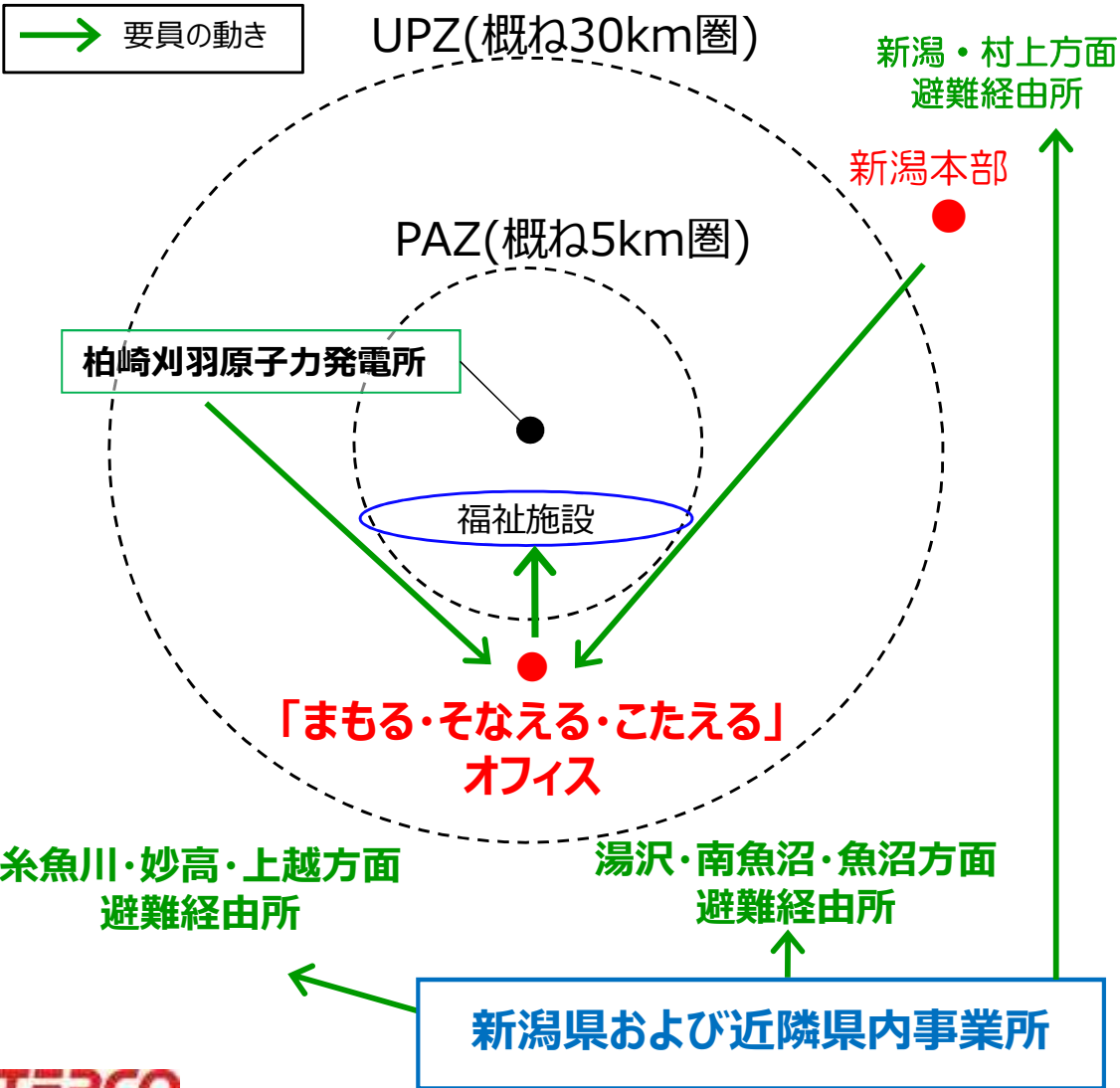
<「避難支援チーム」の増強（緊急時）>

	従来	2018.4~	将来
		PAZ避難支援活動の体制拡充	UPZ避難支援活動の体制拡充
活動範囲	PAZの避難支援 UPZの避難支援	PAZの避難支援 (拡充) UPZの避難支援	PAZの避難支援 (拡充) UPZの避難支援 (拡充について協議中)
要員規模	約50名	約140名	検討中
要員 リソース	新潟本部	・新潟本部 ・柏崎刈羽原子力発電所 ・新潟および近隣県内 事業所	検討中

3. 防災支援の取り組み ①緊急時の初動体制 (2/2)

<緊急時におけるPAZ避難支援活動の体制>

- 約140名によるPAZ避難支援活動の体制に拡充
- 今後、訓練を重ねてクイック&パワーアップを実現



	活動内容	要員 リソース
PAZ 避難 支援 活動	①介護を必要とされる方々の 避難支援 (福祉車両の提供、運転・補助)	新潟本部、 柏崎刈羽原子力 発電所
	②PAZ避難経路所の運営支援 (開設、案内、車両誘導 等)	新潟県および 近隣県内事業所



4. 地域貢献の取り組み ①長岡技術科学大学との共同研究

- パシフィコ横浜において開催された第27回「震災対策技術展」(2月2、3日)において、新潟県のブース「にいがた防災ステーション」に、県が取り組む防災産業クラスター形成事業の一環として、県内事業者が開発・製造した防災関連商品9点を展示
- ブースには、長岡技術科学大学との共同研究からユニトライク社が商品化した「ウォーターチェンジャー[®]」と「防災ワクチン[®]教材ブレーカー実験キット」を出展いただいた



Fig.1:ウォーターチェンジャー[®]展示ブースの様子



Fig.2:ブレーカー実験キット展示ブースの様子

4. 地域貢献の取り組み ②米粉の普及促進活動

■ 2023年2月 新潟県のR10プロジェクト※応援企業に登録

※新潟県のR10プロジェクト

食料自給率向上のため、小麦粉消費量の10%以上を米粉に置き換える取り組み

<取り組み実績>

2023年3月 新潟市内の事務所で米粉パン普及に向け、試食会を開催（社員他 約50名参加）

R10プロジェクト応援企業登録証



にいがた発「R10プロジェクト」応援企業

登録証

企業等の名称 東京電力ホールディングス株式会社新潟本社

所在地 新潟県新潟市中央区新光町11番地7 新潟光ビル5階

上記を、にいがた発「R10プロジェクト」応援企業として登録します。

登録番号 第 1 6 9 号

登録年月日 令和 5 年 2 月 1 6 日

新潟県知事 花角 英世



試食会の様子



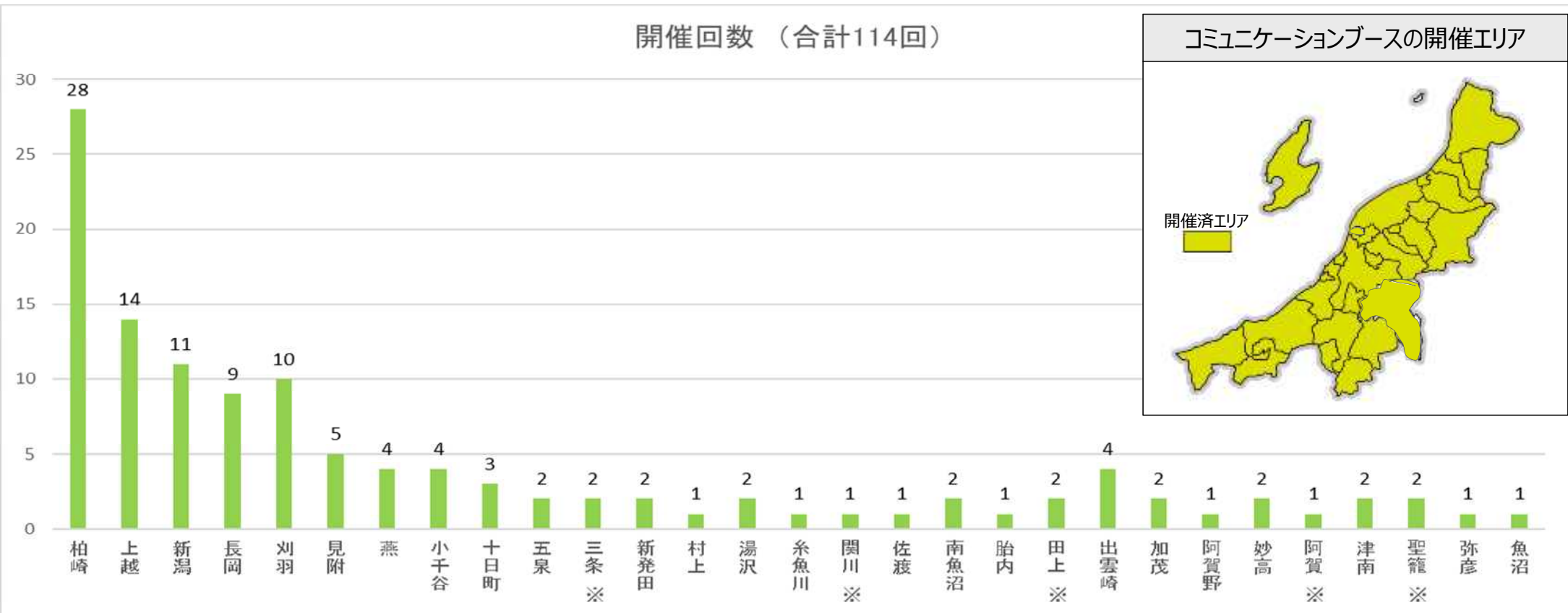
4. 地域貢献の取り組み ③地域行事への参加

＜参加実績＞

地域行事	実施日	作業内容	参加者数
柏崎アクアパーク 冬の感謝祭	1月22日	運営補助	6名
柏崎市社会福祉協議会除雪作業	2月10日	個人宅の除雪作業	4名
J R 東日本・魚沼漁業協同組合主催 小千谷地区サケ稚魚放流活動	2月13日	放流お手伝い	8名
第47回おぢや風船一揆	2月25日 26日	熱気球試乗体験ボランティア	6名
長野県主催 サケの稚魚放流	2月28日	放流お手伝い	5名
第3回白山ジャンプ台そりレース大会	3月 5日	受付、スタート補助	4名
JR東日本主催 宮中ダム サケの稚魚放流	3月 8日	放流お手伝い	5名
第47回津南雪まつり	3月11日	スカイランタン点火補助	9名
中魚沼漁業協同組合主催 清津川付近 サケの稚魚放流	3月14日	放流お手伝い	3名
高浜コミュニティセンター冬囲い撤去	3月15日	雪囲い撤去補助	4名
夢の森公園冬囲い撤去	3月25日	雪囲い撤去補助	11名

5. 傾聴と対話の取り組み ① コミュニケーションブース(1/2)

- 新潟県内において「東京電力コミュニケーションブース」を設置し、県内の皆さまからの疑問やご意見など、さまざまな「声」をお聴きしています。
- 柏崎刈羽原子力発電所における一連の不適切事案を踏まえた原子力改革として「本社機能の一部移転」、「外部専門家の登用」、「核物質防護事案への対応」を進めており、これらの取り組みを直接地域の皆さまにご説明するとともに、ご意見を拝聴いたしました。
いただいた貴重なご意見につきましては、今後の発電所運営に活かしてまいります。



※ 2つの市町村にお住まいの方を対象として開催し「声」をお聴きしているブースがあるため、開催回数とグラフの合計値は異なります。

(2023年 3月31日 現在)

5. 傾聴と対話の取り組み ① コミュニケーションブース(2/2)

■ 開催日程・場所

✓ 小千谷市	2月23日(木・祝) ~2月25日(土)	イオン小千谷店
✓ 見附市	2月23日(木・祝) ~2月25日(土)	PLANT-5 見附店
✓ 十日町市	3月 3日(金) ~3月 5日(日)	リオン・ドール十日町店
✓ 燕市	3月 3日(金) ~3月 5日(日)	分水ショッピングパーク パコ
✓ 出雲崎町	3月18日(土) ~3月19日(日)	出雲崎町保健福祉総合センター ふれあいの里

■ 会場でいただいた声

- ✓ いざ避難する時は、情報が必要となる。正確な情報を速やかに知らせてほしい。
- ✓ 電気代が値上がりしている理由について理解できてよかった。
- ✓ 米を売っても光熱費で利益が消えていく。
安全に原子力発電所を動かしてほしい。
- ✓ 放射性廃棄物について、処分地が決まっていなかったり、分からないことが多く心配している。
- ✓ 社員、関係企業の末端まで教育をしっかりしているか心配だ。



5. 傾聴と対話の取り組み ②県民の皆さまへの説明会

- 一連の不適切事案を踏まえた、柏崎刈羽原子力発電所の取り組み状況や原子力改革の進捗状況等を、ご説明するとともに、ご意見をいただくことを目的に、「県民の皆さまへ の説明会」を開催いたしました。

開催日	場所	参加者数
2023年 1月30日	柏崎市産業文化会館	74名
2023年 1月31日	刈羽村生涯学習センター ラピカ	39名
2023年 2月 7日	長岡リリックホール	73名
2023年 2月 9日	リージョンプラザ上越	35名
2023年 2月11日	新潟県民会館	87名



■ いただいた声

- ✓ 3号機高経年化技術評価書について、「参照」ではなく「流用」「改ざん」「捏造」ではないか。
- ✓ 実効性のある避難計画が作成されていない状況では、再稼働はできないのではないかと。
- ✓ 電気料金値上げ申請に6、7号機の再稼働を織り込んでいるのはなぜか。
- ✓ なぜトラブル・不祥事を繰り返し起こすのか。過去の再発防止対策が活かされていないのではないかと。

【参考】県民の皆さまへの説明会 開催実績（新潟本社設立以降）

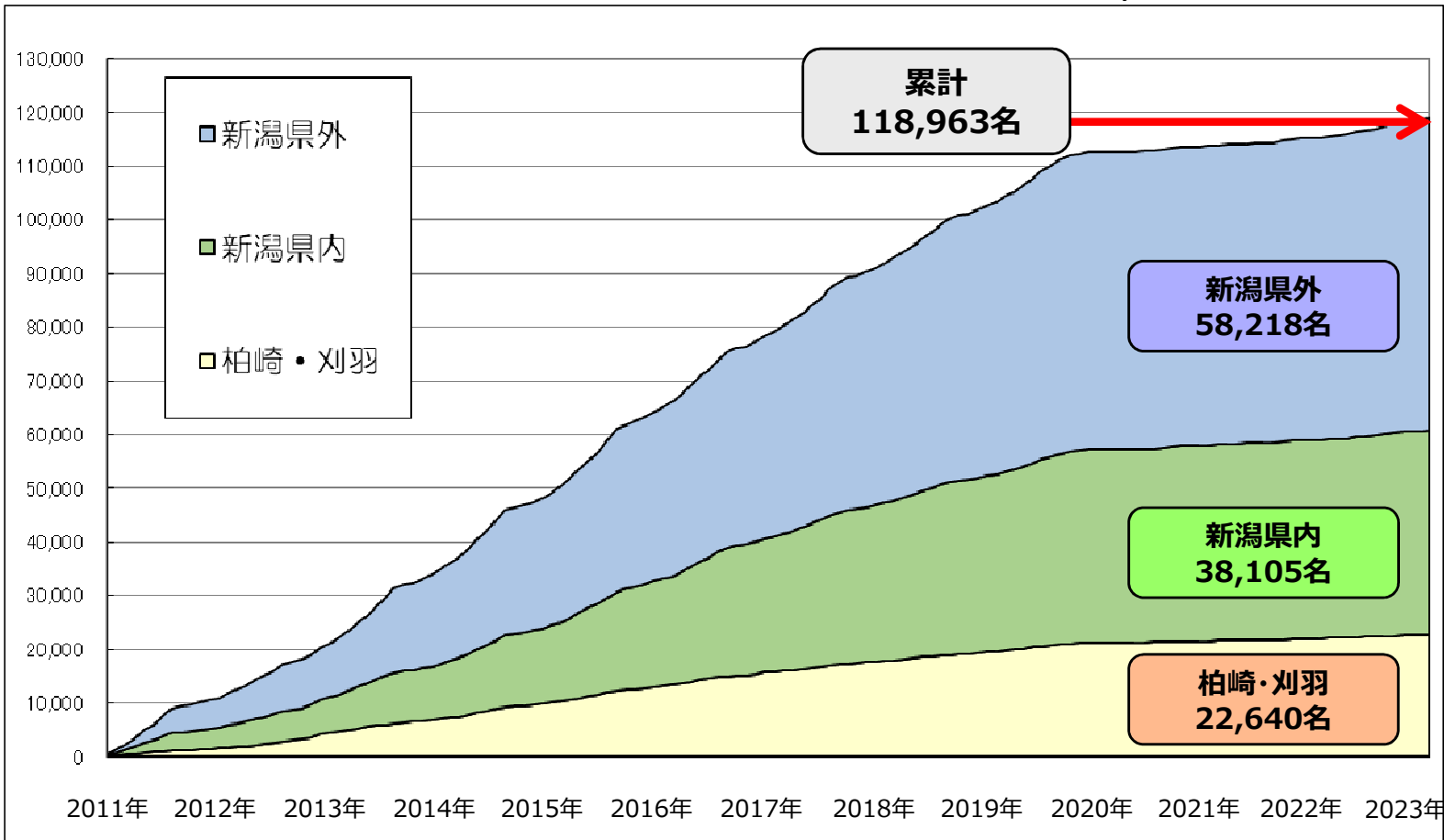
開催日	場所	参加者数
2015年 6月 8日	刈羽村生涯学習センター ラピカ	64名
2015年 6月 9日	柏崎市産業文化会館	128名
2015年12月21日	柏崎市産業文化会館	128名
2015年12月22日	刈羽村農村環境改善センター	44名
2016年 9月13日	柏崎市市民プラザ	79名
2016年 9月14日	刈羽村 高町地区集会場	24名
2018年 1月30日	柏崎市産業文化会館	98名
2018年 1月31日	刈羽村生涯学習センター ラピカ	52名
2021年 1月25日	柏崎市文化会館アルフォーレ	107名
2021年 1月27日	刈羽村生涯学習センター ラピカ	79名
2021年 2月 8日	長岡リリックホール	109名
2021年 2月 9日	上越文化会館	66名
2021年 2月12日	新潟ユニゾンプラザ	108名

5. 傾聴と対話の取り組み ③ 発電所視察対応

■ 福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、新潟県内をはじめ多くの皆さまに、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策等の取り組みをご視察いただいております。(2011年以降の視察実績は累計で約11万9千人)

【発電所視察者数】

(2023年3月31日現在)



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、「発電所のご視察」は3密回避等の感染拡大防止対策を講じた上で実施しております。